

平成25年度 第1回榛名地域審議会における質疑一覧

[平成25年5月31日開催]

1 榛名地域の事業推進状況に係る質疑

事業名	No.	質疑	回答
榛名地域観光施設整備事業について	1	<p>榛名神社に駐車場を造った後のお客の入りの状況、渋滞の状況を教えていただきたい。</p> <p>せっかくお金をかけて造ったので、お客に対しても店に対しても地域に対しても有効であればいいと思う。</p>	<p>土日祝日にお客が非常に多く、駐車場はまだ足りないというのが現状である。先日も幽玄の杜音楽会の参加者が列をなしており、おそばを食べる方と幽玄の杜音楽会に参加される方と参拝客が入り乱れ、駐車場が足りないという状況であった。今後も、駐車場を増やしていかなければと思うが、地形的に作るのは難しいと考えている。イベント毎に駐車場に警備員を配置し、また、神社でも土日祝日には、警備員を配置して駐車場の流れをよくしているが、パワースポット人気にあやかり、お客さんが大変多い状況である。</p>
	2	<p>榛名神社の観光案内の件で、先月OB会の観光案内をした。榛名町の時に観光案内を募集し、その時私は一度だけ案内に付いて回っただけで、合併し、そのままになってしまった。あれだけの神社ならどこに行っても無料の観光案内がいると思うが、現在の観光案内はどうなっているか。</p>	<p>現在、観光ボランティアは4名いるが、無料という訳にはいかず、各団体から1回2千円をいただいている。ボランティアをしている人も自分の仕事を休んで行っているもので、有料ではあるが、現在4名の方で予約をいただいて案内している。</p>
上水道管網整備事業について	1	<p>石綿セメント管を別のものに取り替えた後の産廃処置はどうなっているか。</p>	<p>道路に埋設してある石綿セメント管を切り替えているが、道路に埋設されているものに蓋をして道路内に敷設している。切った箇所は水や砂が入らないような形で蓋をして道路内に埋設している。</p>

事業名	No.	質疑	回答
上水道管網整備事業について	2	そのままにしておいて新たな管を設置するということがあるが、それは許されていることなのか。	道路に埋設しても人体等に影響はないので、現在は道路に埋設という処置をしている。切り取った部分は適切に処理している。
汚水管渠整備事業について	1	国道406号線沿いの神山の住民が「本管事業をしないで支線が進んでいる」と話していた。支線のあるところはある程度の新興住宅地で合併浄化槽が入っているが、国道406号線の古い町並みのところは単独浄化槽なので「早く本管事業をして欲しい」と聞いた。支線は最後にやった方がいいと思う。なるべく早く本管を通せば、神山の地区を流れる川の下水が少なくなってきれいになるのではないかと思う。	現在下水道局で整備計画を立てて、今年度も上里見地域の実施設計業務を行っているので、その様な意見も踏まえ、地域の状況を考えながら検討したい。

2 その他の質疑

事業名	No.	質疑	回答
平成25年度当初予算について	1	基金の状況について、25年度末には同程度となるように財政運営に努めるとあるが、30億円もの金額のどこをどのようにするのか。	24年度の繰越金がおおよそ30億くらい発生すると見込んでいる。例年並みの基金残高になると思われる。
	2	そんなに繰り越しになるのか。	ここに書かれている25年度案は予算ベースである。一般予算を組み立てる時は、歳入欠陥になると困るので、歳入は極めて確実な数字を計上し、歳出については執行ができないと困るので、確実な支出の計上を行なっている。予

事業名	No	質疑	回答
平成25年度当初予算について			<p>算上、歳入をきつくみて歳出を執行できるようにみる。年度末には一般的に繰越金が出てくるが、これを調整しているのがこの基金である。予算上減っているが、例年の金額水準に戻ると考えている。</p>
	3	<p>歴史的景観建造物登録制度の創設は自分で申し込むのか、それとも役所の方で該当しますと言っただけなのか。</p>	<p>両方ある。本人から推薦していただいても構わない。今まで、正式な文化財に対し国や県が認定する補助制度はあった。</p> <p>古い農家の風景はなくしてはならない。町の風景を大事にしているような古い家、門、養蚕農家を補助することにより大事にしていこうと判断した。</p>
ゴミの減量について	1	<p>3月13日に高浜クリーンセンターで勉強会があった。ゴミを燃やす場合の苦労や相当な電力を使うということが分かった。</p> <p>毎日の生活の中で家庭から出るゴミの中にトレイがある。高浜クリーンセンターが新しくなると聞いているので、その時にそのゴミを処理する工程を作る予定があるか。</p> <p>いいゴミと悪いゴミを分ける場合の仕分けの制限があるようである。市民にどう教育、説明するのか。</p>	<p>現在、高浜クリーンセンターではトレイを焼却している。分別している都市もあるが、高崎の焼却炉については、分けて焼却している。新しい施設はこれから研究していく訳であるが、分けるとなると分別を家庭でやっていただくことになるので、かなりの手間がかかる。</p> <p>ホテル等の施設は施設側で分けて収集運搬業者に集めていただき焼却してもらおう。今後の計画の中で一緒に燃やすか分けるかを決めていくことになると思う。分けた場合については、分別して業者に渡して料金をいただくというやり方もあるが、それらを含めて計画の中で明らかにしていきたい。</p>

事業名	No	質疑	回答
ゴミの減量について	2	石油製品で輸入しているということと、物を大事にしたという2点の要点でお話させていただいた。	<p>分別については、今のルールでやっとならしていただいている。</p> <p>環境保健委員の方が、朝どんな天気の時も出されたゴミを整理し直して、普通はそういう姿を見ればいい加減なゴミの出し方をしないと思う。しかし、中にはそうでない方もいる。教育普及ですぐにできるかといえばなかなか難しい。技術的工夫は行っているが、群馬県はゴミの量が多い。いろいろな方法でアピールしたい。</p>
ゴミの野焼きについて	1	ゴミを近場で燃やしているがよろしいのか。見かけても注意しにくいはどうしたらいいのか。	一般廃棄物対策課や市民福祉課に情報をいただければ出向いて注意もできる。報告をお願いしたい。